

遠賀川流域治水協議会

多段階浸水想定図及び 水害リスクマップ公表について (令和4年4月26日 公表)

令和4年5月16日

遠賀川流域治水協議会

多段階浸水想定図・水害リスクマップの概要

- 土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として作成。
- 「多段階浸水想定図」：確率規模ごとに浸水範囲や浸水深を表示した図
- 「水害リスクマップ」：確率規模ごとに浸水範囲を重ね合わせ、浸水頻度の関係を表示した図
- さらに、それぞれ現況河道だけでなく、当面の整備を反映した短期河道における図も作成。

○遠賀川水系 多段階浸水想定図・水害リスクマップの作成ケース

		発生頻度						
		高				低		
河道条件	浸水深	1/10 規模	1/30 規模	1/50 規模	1/100 規模	1/150 規模	想定最大 規模	
現況河道 (R2年度末)	全範囲	○	○	○	○	○	○※1	多段階浸水想定図 確率規模ごと、整備 段階ごとに浸水深を 表示した図
	50cm以上	○	○	○	○	○	○※1	
	3.0m以上	○	○	○	○	○	○※1	
短期河道 (R7年度末) ※2	全範囲	○	○	○	○	○	○※1	水害リスクマップ (現況河道版)
	50cm以上	○	○	○	○	○	○※1	
	3.0m以上	○	○	○	○	○	○※1	

※1：想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

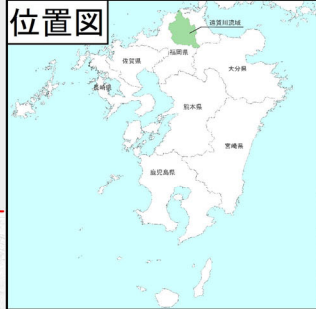
※2：短期河道の河道条件については、今後の事業進捗の状況により、変更となる場合があります。

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

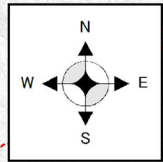
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

位置図



索引図



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、過去の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、菅尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、菅尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水確率設計の降雨形状(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年4月26日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所: 遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、菅尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
(3) 実施区間
【遠賀川河川事務所】
遠賀川水系遠賀川
左右岸-福岡県嘉麻市中登字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
遠賀川水系彦山川
左岸-福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ浦山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸-福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
遠賀川水系大鳴川
左右岸-福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
遠賀川水系西川
左岸-福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正橋157番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸-福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
遠賀川水系黒川
左右岸-福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三象橋から遠賀川合流点まで
遠賀川水系菅尾川
左右岸-福岡県北九州市八幡西区大字野瀬字渡打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
遠賀川水系八木山川
左右岸-福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
遠賀川水系穂波川
左岸-福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸-福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
遠賀川水系中元寺川
左岸-福岡県田川郡香春町大字登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸-福岡県田川郡香春町大字香春字昭和原1549番地先から彦山川合流点まで
(4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(日の出積上流域の2日間の総雨量265mm)
・年超過確率1/30(日の出積上流域の2日間の総雨量325mm)
・年超過確率1/50(日の出積上流域の2日間の総雨量355mm)
・年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨量390mm)
・年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)
(5) 河道条件: 現況
(6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、赤田町、川崎町、大任町、福智町
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

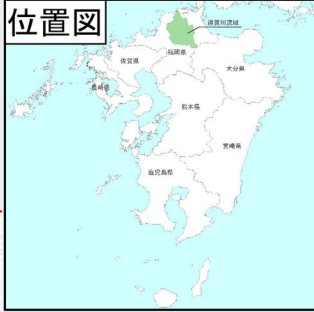
1:150000

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ 【現況河道】

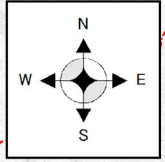
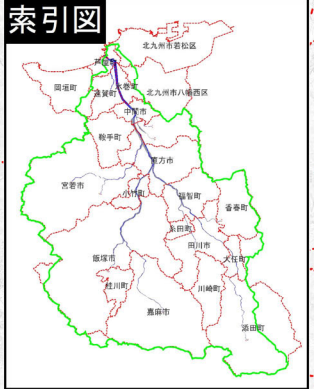
浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

位置図



索引図



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、菅尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、菅尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実績にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - (3) 実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - 遠賀川水系遠賀川
左右岸 福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 - 遠賀川水系彦山川
左岸 福岡県田川郡添田町大字落合字打ノ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸 福岡県田川郡添田町大字落合字ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系大鳴川
左右岸 福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の黒道橋から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系西川
左岸 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系黒川
左右岸 福岡県北九州市八幡西区大字香月字栗川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系菅尾川
左右岸 福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系八木山川
左右岸 福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 - 遠賀川水系穂波川
左岸 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 - 遠賀川水系金辺川
左岸 福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸 福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪222番の2地先から彦山川合流点まで
 - 遠賀川水系中元寺川
左岸 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
 - 年超過確率1/10(日の出積上流域の2日間の総雨量265mm)
 - 年超過確率1/30(日の出積上流域の2日間の総雨量325mm)
 - 年超過確率1/50(日の出積上流域の2日間の総雨量355mm)
 - 年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨量390mm)
 - 年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)
 - (5) 河道条件: 現況
 - (6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡田町、遠賀町、小竹町、糟手町、桂川町、添田町、永田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

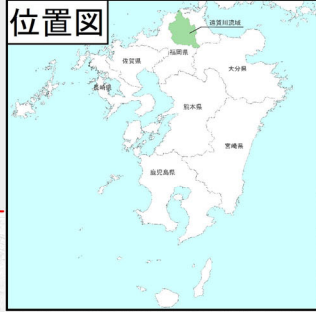
1:150000

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

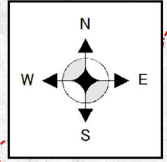
浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

位置図



索引図



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
(2)この水害リスクマップは、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3)このシミュレーションの実態にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1)公表年月日 令和4年4月26日
- (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局

(3)実施区間

【遠賀川河川事務所】

- 遠賀川水系遠賀川
左右岸:福岡県嘉麻市中央日渡708番の1地先の火渡橋から海まで
- 遠賀川水系彦山川
左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ノ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系大鳴川
左右岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の黒道橋から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系西川
左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正原157番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系黒川
左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系笹尾川
左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野間字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系八木山川
左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
- 遠賀川水系穂波川
左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
- 遠賀川水系金辺川
左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪222番の2地先から彦山川合流点まで
- 遠賀川水系中元寺川
左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和1549番地先から彦山川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨

- 年超過確率1/10(日の出梅上流域の2日間の総雨量265mm)
- 年超過確率1/30(日の出梅上流域の2日間の総雨量325mm)
- 年超過確率1/50(日の出梅上流域の2日間の総雨量355mm)
- 年超過確率1/100(日の出梅上流域の2日間の総雨量390mm)
- 年超過確率1/150(日の出梅上流域の2日間の総雨量405mm)

(5)河道条件:現況

- (6)関係市町村 北九州市、嘉麻市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸畑町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、糟手町、桂川町、添田町、永田町、川崎町、大任町、福智町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

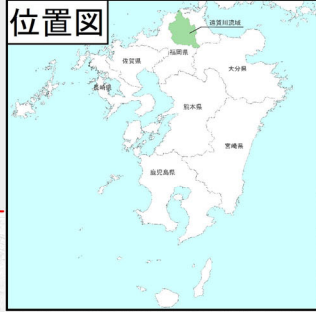
1:150000

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】

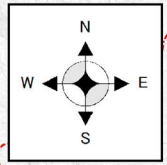
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

位置図



索引図



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、令和7年度「遠賀川水系遠賀川、嘉山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、嘉山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水確率設計の降雨形状(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・遠賀川河川事務所: 遠賀川水系遠賀川、嘉山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3) 実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 左右岸: 福岡県嘉麻市中盤宇日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 遠賀川水系嘉山川
 左岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ浦山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系大鳴川
 左右岸: 福岡県宮崎市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
 遠賀川水系西川
 左岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正榜157番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 左右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字野瀬字渡1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 遠賀川水系笹尾川
 左右岸: 福岡県北九州市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 左岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 左岸: 福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から嘉山川合流点まで
 右岸: 福岡県田川郡崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から嘉山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 左岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から嘉山川合流点まで
 右岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和原1549番地先から嘉山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
 - ・年超過確率1/10(日の出橋上流域の2日間の総雨量265mm)
 - ・年超過確率1/30(日の出橋上流域の2日間の総雨量325mm)
 - ・年超過確率1/50(日の出橋上流域の2日間の総雨量355mm)
 - ・年超過確率1/100(日の出橋上流域の2日間の総雨量390mm)
 - ・年超過確率1/150(日の出橋上流域の2日間の総雨量405mm)
 - (5) 河道条件: 短期(令和7年度)
 - (6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮崎市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、赤田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

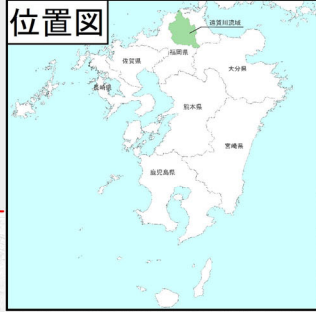
1:150000

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】

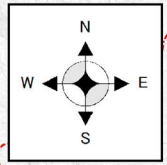
浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

位置図



索引図



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実績にあつては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果の説明のために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - (3) 実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 - 左右岸：福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 - ・遠賀川水系彦山川
 - 左岸：福岡県田川郡遠田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸：福岡県田川郡遠田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系大鳴川
 - 左右岸：福岡県若宮市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系西川
 - 左岸：福岡県遠賀郡遠賀町大字今賀字正橋157番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸：福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 - 左右岸：福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三桑橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系笹尾川
 - 左右岸：福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系八木山川
 - 左右岸：福岡県若宮市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流地から大鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 - 左岸：福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸：福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 - 左岸：福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸：福岡県田川郡川崎町大字地原字宮ヶ坪222番の2地先から彦山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 - 左岸：福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸：福岡県田川郡香春町大字香春字昭和1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
 - ・年超過確率1/10(日の出積上流域の2日間の総雨量265mm)
 - ・年超過確率1/30(日の出積上流域の2日間の総雨量325mm)
 - ・年超過確率1/50(日の出積上流域の2日間の総雨量355mm)
 - ・年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨量390mm)
 - ・年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)
 - (5) 河道条件：短期(令和7年度)
 - (6) 関係市町村：北九州市、若宮市、嘉穂市、田川市、中間市、若宮市、嘉穂市、芦屋町、水巻町、岡田町、遠賀町、小竹町、若手町、桂川町、遠田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

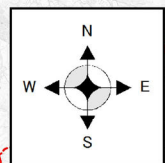
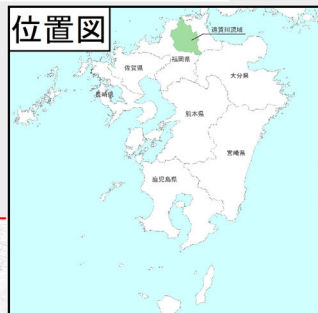
「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

遠賀川水系 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版



凡例

基本情報

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

想定される浸水範囲

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
(2)この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3)このシミュレーションの実績にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
(1)公表年月日 令和4年4月26日
(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所: 遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
(3)実施区間
【遠賀川河川事務所】
・遠賀川水系遠賀川
左岸: 福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
右岸: 福岡県嘉麻市大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系彦山川
左岸: 福岡県嘉麻市大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系大鳴川
左岸: 福岡県若宮市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
右岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字今賀字正橋157番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系西川
左岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系黒川
左岸: 福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三葉橋から遠賀川合流点まで
右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系八木山川
左岸: 福岡県若宮市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流地から大鳴川合流点まで
・遠賀川水系穂波川
左岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系中元寺川
左岸: 福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸: 福岡県田川郡川崎町大字地尻字宮ヶ坪222番の2地先から彦山川合流点まで
・遠賀川水系金辺川
左岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(日の出積上流域の2日間の総雨量265mm)
・年超過確率1/30(日の出積上流域の2日間の総雨量325mm)
・年超過確率1/50(日の出積上流域の2日間の総雨量355mm)
・年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨量390mm)
・年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)

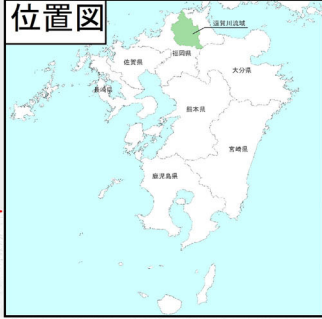
(5)河道条件: 短期(令和7年度)
(6)国土地理院 北九州市、若方市、飯塚市、田川市、中間市、若宮市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡田町、遠賀町、小竹町、若手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

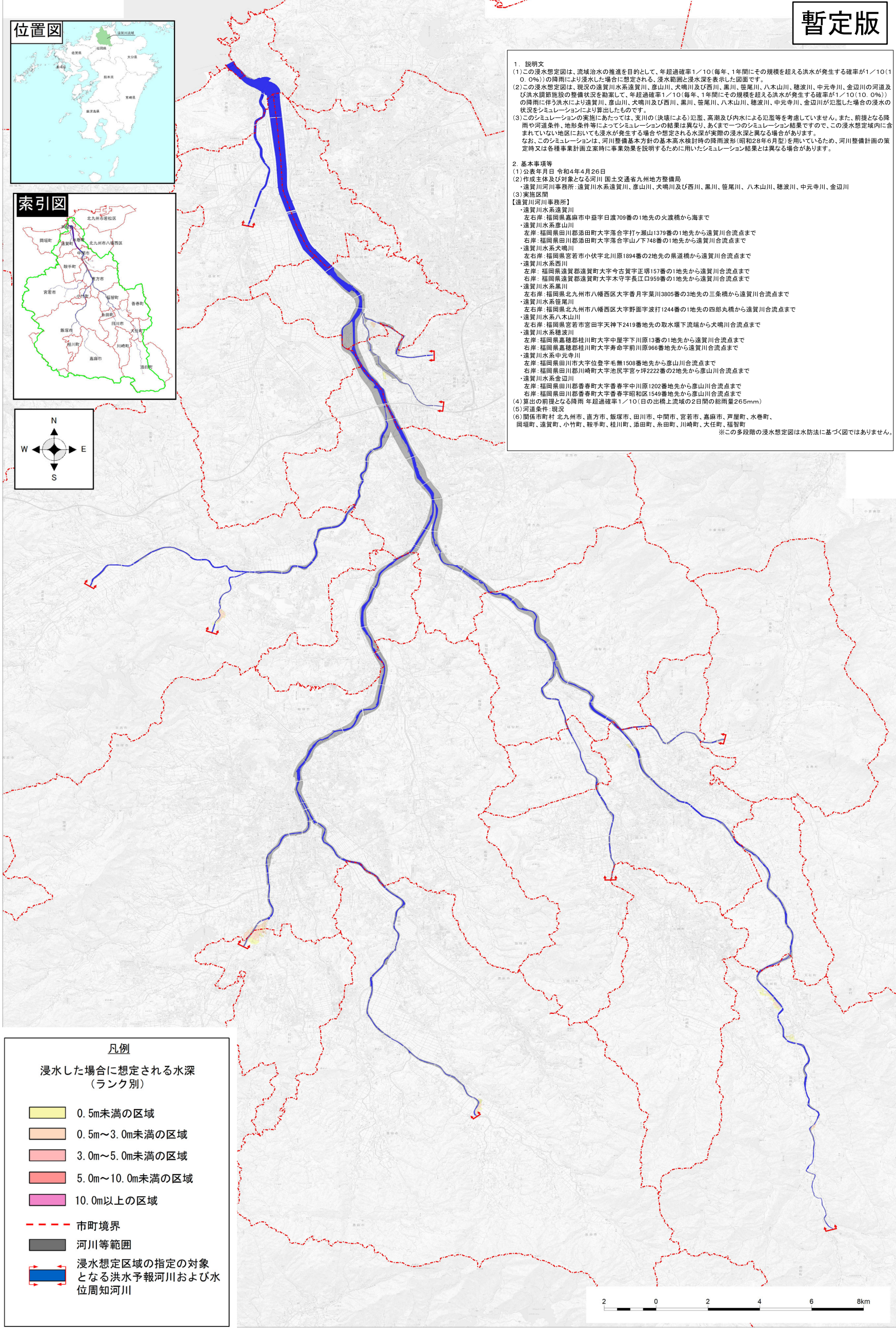
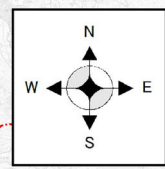
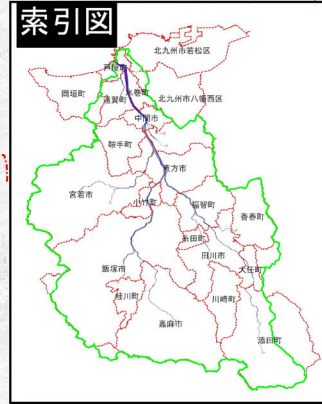
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/10規模降雨) 【現況河道】

暫定版

位置図



索引図



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河床条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和4年4月26日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 (3)実施区間
 【遠賀川河川事務所】
 ・遠賀川水系遠賀川
 左右岸:福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 ・遠賀川水系彦山川
 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系大鳴川
 左右岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系西川
 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正原157番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系黒川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系笹尾川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系八木山川
 左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 ・遠賀川水系穂波川
 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系中元寺川
 左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 ・遠賀川水系金辺川
 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/10(日の出上流域の2日間の総雨量265mm)
 (5)河道条件:現況
 (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸畑市、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

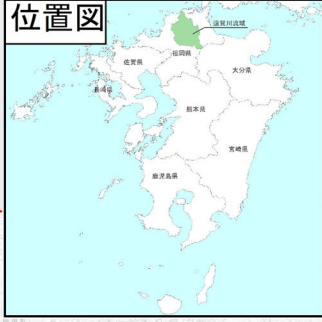
「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

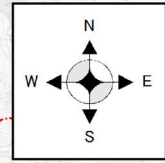
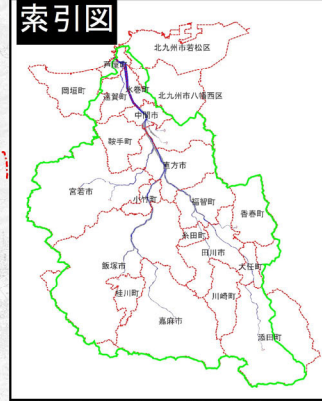
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/30規模降雨) 【現況河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 - (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図域に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。また、実際の浸水深と異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - ・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3) 実施箇所
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 - 左岸:福岡県嘉麻市中益字日達709番の1地先の火渡橋から海まで
 - ・遠賀川水系彦山川
 - 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系大鳴川
 - 左岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系西川
 - 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 - 左岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系笹尾川
 - 左岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系八木山川
 - 左岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 - 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 - 左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 - 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30(日の出概上流域の2日間の総雨量325mm)
 - (5) 河道条件:現況
 - (6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

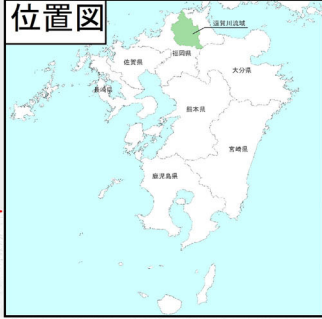
『国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

『測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36』

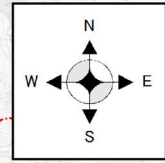
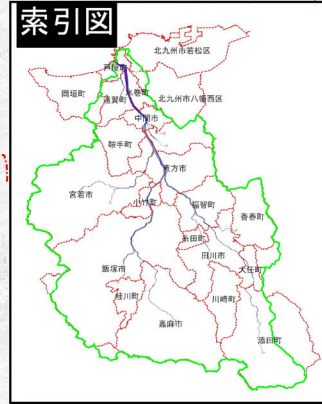
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/50規模降雨) 【現況河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 - (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2)この浸水想定図は、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。また、実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1)公表年月日 令和4年4月26日
 - (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3)実施機関
【遠賀川河川事務所】
・遠賀川水系遠賀川
左右岸:福岡県嘉麻市中益宇日達709番の1地先の火渡橋から海まで
・遠賀川水系彦山川
左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系大鳴川
左右岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系西川
左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系黒川
左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川13805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系笹尾川
左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系八木山川
左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
・遠賀川水系穂波川
左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系中元寺川
左岸:福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
・遠賀川水系金辺川
左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/50(日の出概上流域の2日間の総雨量355mm)
 - (5)河道条件:現況
 - (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸畑市、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、基田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

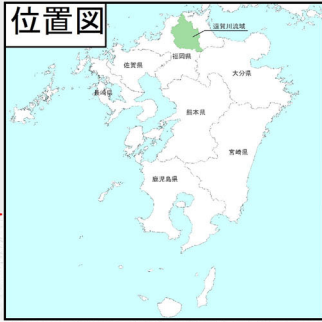
「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

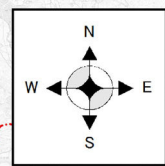
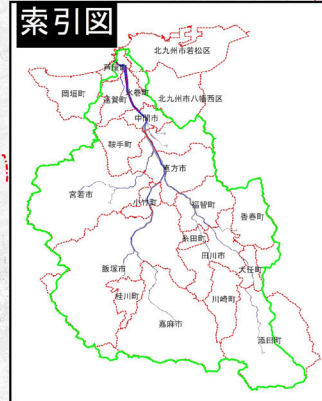
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/100規模降雨) 【現況河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
(1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
(2)この浸水想定図は、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3)このシミュレーションの実績にあたっては、支川の(流域による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
2. 基本事項等
(1)公表年月日 令和4年4月26日
(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
(3)実施区間
【遠賀川河川事務所】
・遠賀川水系遠賀川
左岸:福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
右岸:福岡県嘉麻市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系彦山川
左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系犬鳴川
左岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系西川
左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系黒川
左岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系笹尾川
左岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から犬鳴川合流点まで
・遠賀川水系穂波川
左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系中元寺川
左岸:福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
・遠賀川水系金辺川
左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
(4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨390mm)
(5)河道条件:現況
(6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸畑市、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

--- 市町境界

■ 河川等範囲

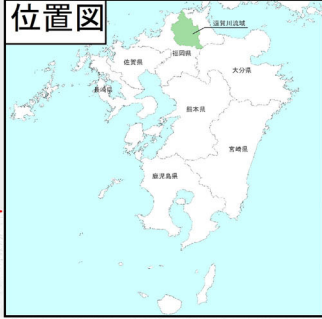
■ 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

『国土地理院の電子地形図25000 『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載
『測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36』

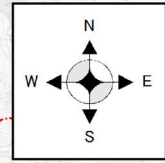
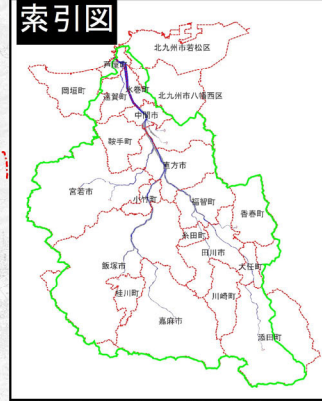
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/150規模降雨) 【現況河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 - (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、現況の遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図域に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - ・遠賀川河川事務所: 遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3) 実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 - 左右岸: 福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 - ・遠賀川水系彦山川
 - 左岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系犬鳴川
 - 左右岸: 福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系西川
 - 左岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 - 左右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系笹尾川
 - 左右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系八木山川
 - 左右岸: 福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から犬鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 - 左岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 - 左岸: 福岡県田川郡大字位堂字毛無1506番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 - 左岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)
 - (5) 河道条件: 現況
 - (6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸畑市、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

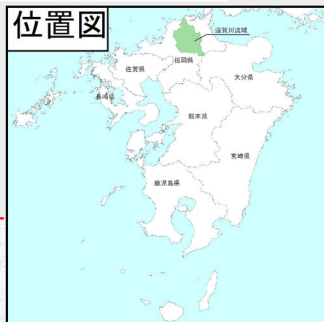
『国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

『測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36』

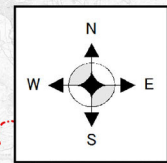
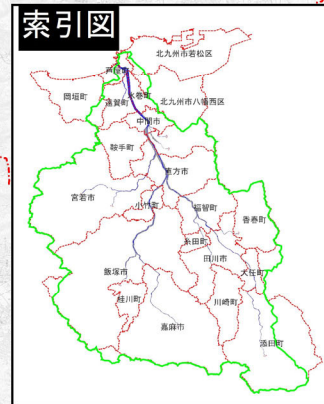
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/10規模降雨) 【短期河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 - (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和4年4月26日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - ・遠賀川河川事務所: 遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3) 実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 - 左右岸: 福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 - ・遠賀川水系彦山川
 - 左岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系大鳴川
 - 左右岸: 福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系西川
 - 左岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 - 左右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字香月字粟川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系笹尾川
 - 左右岸: 福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の西四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系八木山川
 - 左右岸: 福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 - 左岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸: 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 - 左岸: 福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 - 左岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸: 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10(日の出概上流域の2日間の総雨量265mm)
 - (5) 河道条件: 短期(令和7年度)
 - (6) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

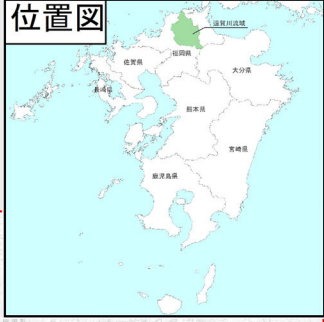
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

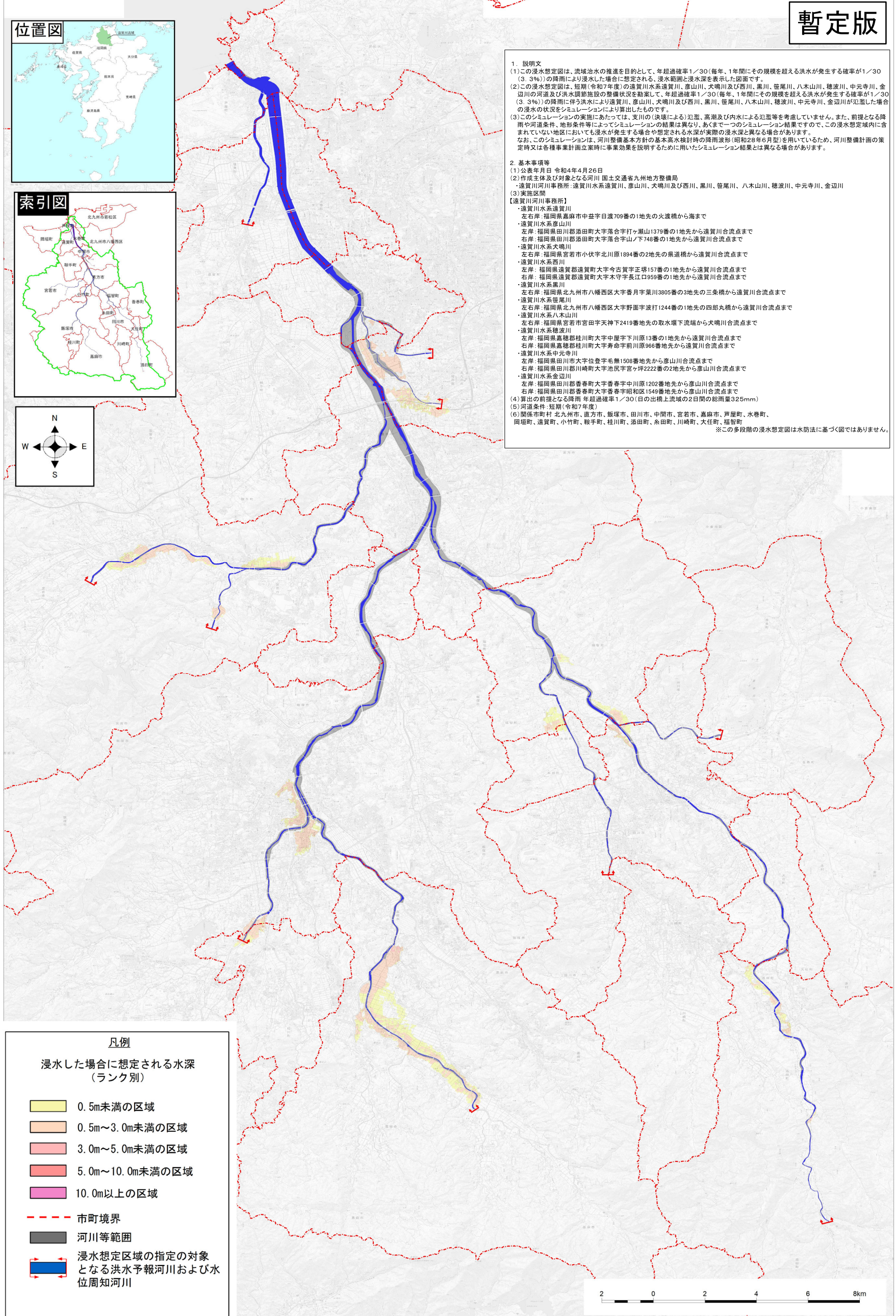
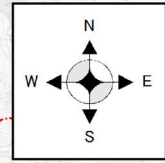
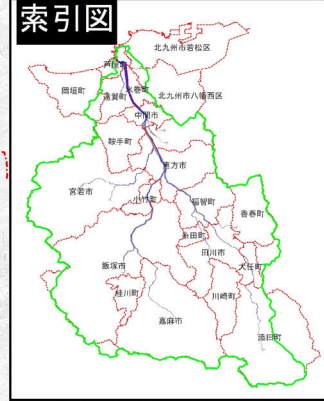
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/30規模降雨) 【短期河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実地にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河床条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、実際の浸水深と異なる場合があります。
 なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和4年4月26日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・遠賀川河川事務所・遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 (3)実施区間
 【遠賀川河川事務所】
 ・遠賀川水系遠賀川
 左右岸 福岡県嘉麻市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 ・遠賀川水系彦山川
 左岸 福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸 福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系犬鳴川
 左右岸 福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系西川
 左岸 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸 福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系黒川
 左右岸 福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系笹尾川
 左右岸 福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系八木山川
 左右岸 福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から犬鳴川合流点まで
 ・遠賀川水系穂波川
 左岸 福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸 福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系中元寺川
 左岸 福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 右岸 福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 ・遠賀川水系金辺川
 左岸 福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 右岸 福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/30(日の出概上流域の2日間の総雨量325mm)
 (5)河道条件:短期(令和7年度)
 (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

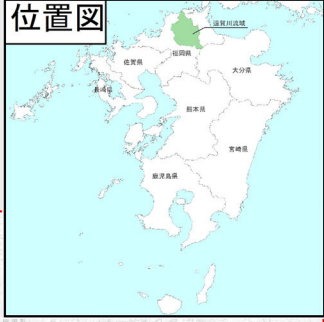
- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載
 『測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36』

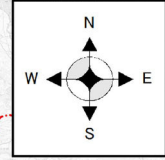
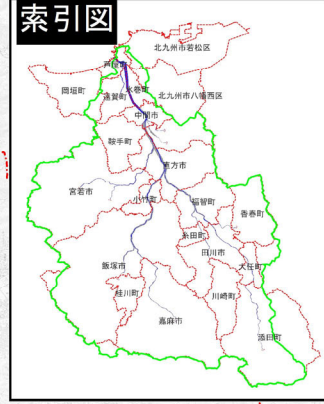
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/50規模降雨) 【短期河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 - (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2)この浸水想定図は、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)このシミュレーションの実地にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1)公表年月日 令和4年4月26日
 - (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - ・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 - (3)実施区間
 - 【遠賀川河川事務所】
 - ・遠賀川水系遠賀川
 - 左右岸:福岡県嘉麻市中益宇日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 - ・遠賀川水系彦山川
 - 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山ノ下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系犬鳴川
 - 左右岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の泉道橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系西川
 - 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系黒川
 - 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川13805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系笹尾川
 - 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の西四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系八木山川
 - 左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から犬鳴川合流点まで
 - ・遠賀川水系穂波川
 - 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 - 右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
 - ・遠賀川水系中元寺川
 - 左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 - ・遠賀川水系金辺川
 - 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 - 右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 - (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/50(日の出橋上流域の2日間の総雨量355mm)
 - (5)河道条件:短期(令和7年度)
 - (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

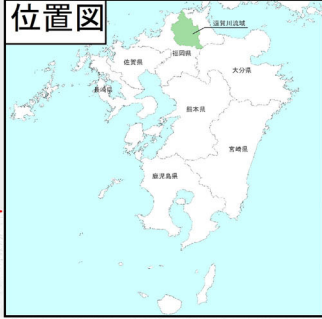
『国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

『測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36』

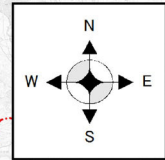
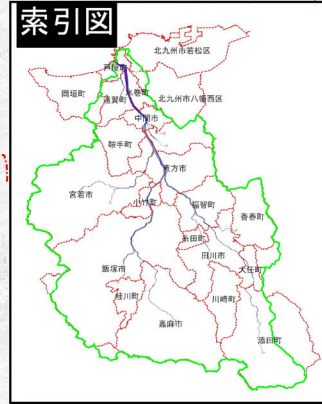
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/100規模降雨) 【短期河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深が異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和4年4月26日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 (3)実施機関
 【遠賀川河川事務所】
 ・遠賀川水系遠賀川
 左右岸:福岡県嘉麻市中益宇日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 ・遠賀川水系彦山川
 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系大鳴川
 左右岸:福岡県若宮市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系西川
 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系黒川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川13805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系笹尾川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系八木山川
 左右岸:福岡県若宮市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 ・遠賀川水系穂波川
 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系中元寺川
 左岸:福岡県田川郡大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 ・遠賀川水系金辺川
 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/100(日の出積上流域の2日間の総雨量390mm)
 (5)河道条件:短期(令和7年度)
 (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸巻町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、基田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
 ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川



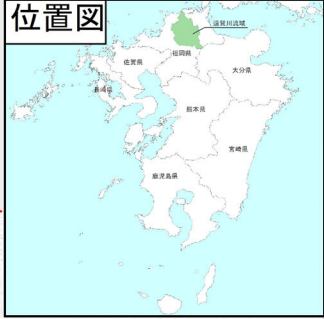
「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」

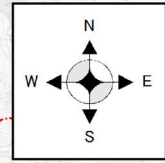
遠賀川水系 国管理河川の浸水想定図(1/150規模降雨) 【短期河道】

暫定版

位置図



索引図



1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、短期(令和7年度)の遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、実際の浸水深と異なる場合があります。
 なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和4年4月26日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・遠賀川河川事務所:遠賀川水系遠賀川、彦山川、大鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川
 (3)実施箇所
 【遠賀川河川事務所】
 ・遠賀川水系遠賀川
 左右岸:福岡県高崎市中益字日渡709番の1地先の火渡橋から海まで
 ・遠賀川水系彦山川
 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系大鳴川
 左岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先の県道橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系西川
 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀字正塚157番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字木守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系黒川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系笹尾川
 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系八木山川
 左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地先の取水堰下流端から大鳴川合流点まで
 ・遠賀川水系穂波川
 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中殿字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
 右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原968番地先から遠賀川合流点まで
 ・遠賀川水系中元寺川
 左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
 ・遠賀川水系金辺川
 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
 右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字昭和区1549番地先から彦山川合流点まで
 (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/150(日の出積上流域の2日間の総雨量405mm)
 (5)河道条件:短期(令和7年度)
 (6)関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、戸屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町
 ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域

- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

「国土地理院の電子地形図25000『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『岩屋』を掲載

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 36」